

■高田早苗 政治家、教育家。早稲田大学創設時から中核となり、日本有数の私学に築き上げるまで、生涯をかけた。

たかださなえ

桜田門外変・1860＝ 江戸深川で通船問屋高田小太郎の三男に生まれる。江戸時代後期の_国学者小山田与清の子孫。

明治維新・・1868＝ 8歳：
戊辰戦争終・1869＝ 9歳：

明治6年政変 1873＝13歳：

大久保暗殺・1878＝18歳：東京大学文学部第一学科(哲学政治学及理財学科)に入学，

明治14年政変1881＝21歳：_小野梓と出会って決定的影響を受け，天野為之・市島謙吉ら同級生と小野を盟主とする鶴渡会を結成し，
新体詩抄・・1882＝22歳：*小野に大隈重信を紹介され，同志とともに立憲改進黨の結成に参加。東大卒業後，エリートコースの官界への就職を蹴って，大隈の東京専門学校創立に参画し，講師となる。

内閣発足・・1885＝25歳：大隈からの学校への補助を返上，月謝を値上げして経済上の自立を図る。

国民之友始・1887＝27歳：*東京専門学校出版局を設置する一方，早稲田独自の通信教育制度を考案した(のち100万人を超える受講者を数え，田中穂積・津田左右吉から田中角栄に至る多くの優秀な校外生を輩出する)。校務や講義の傍ら，近代的文芸批評の先鞭をつけ，{読売新聞}の初代主筆となり，逍・鷗・紅・露という最新・最高の文壇の花形を擁するなどして，同紙を全国唯一の文学新聞とし，大新聞へと発展させた後，

帝国憲法発布1889＝29歳：
帝国議会始・1890＝30歳： 第一回総選挙で代議士となり，
終始大隈の腹心として改進黨系早稲田派のキレ者政治家として行動する。

日清戦争始・1894＝34歳：

白馬会・・・1896＝36歳：
八幡製鉄始・1897＝37歳：大隈が初めて学校に公式に出席し演説。_第2次松方正義内閣(いわゆる松隈内閣)の外務省通商局長，
子規句歌革新1898＝38歳：_大隈重信内閣(いわゆる隈板内閣)の文部省参事官，専門学務局長などを歴任。

ビ7/国産化・1900＝40歳：*政界を離れて，再び校務に専念し，大学への昇格を推進，3代校長鳩山和夫のもと学監を新設して就任，
田中正造直訴1901＝41歳：_法学博士。
教科書疑獄・1902＝42歳：_東京専門学校の組織を発展させて早稲田大学と改称，

日露戦争終・1905＝45歳：

韓国反日暴動1907＝47歳：_財団法人化とともに早大と公式的關係を持った大隈重信総長のもとで，実質的代表者の学長となる。

明治天皇没・1912＝52歳：
大正政変・・1913＝53歳：創立30周年式典で，自ら考案した校旗・式服・式帽を登場させるとともに，「教旨」を制定。
第一次大戦始1914＝54歳：
21ヶ条要求・1915＝55歳：貴族院議員に勅選され，早大学長を辞任して，第2次大隈内閣の文部大臣に就任。

ロシア革命・1917＝57歳：天野為之派との確執<早稲田大学騒動>の渦中の人となり，終身維持会員・名誉学長を辞任したが，

ベルリン条約・1919＝59歳：復帰し，

原敬首相暗殺1921＝61歳：
水平社結成・1922＝62歳：_大隈重信が死去するや組織改正，実権を有する新総長制を採用して，
関東大震災・1923＝63歳：_早稲田大学総長に就任。

共産党事件・1928＝68歳：帝国学士院会員。

満州事変・・1931＝71歳：*日本有数の私学に育て上げて，総長を退任し，
五一五事件・1932＝72歳：

日中戦争始・1937＝77歳：
健保+総動員 1938＝78歳：_没した。

佐藤能丸「異彩の学者山脈」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，